

令和2年度第1回アイランドシティはばたき公園管理・運営等アドバイザー会議

－ 議 事 要 旨 －

日 時： 令和2年11月26日（木） 10時30分 ～ 12時30分

会 場： 博多港センタービル 8F 局議室（Web形式）

参加者：[アドバイザー] 6名

- ・桑江 朝比呂 （港湾空港技術研究所 沿岸環境研究グループ長）
- ・岡田 知也 （国土交通省 国土技術政策総合研究所 海洋環境・危機管理研究室長）
- ・服部 卓郎 （NPO法人 ふくおか湿地保全研究会 理事長）
- ・林 博徳 （九州大学大学院 工学研究院 環境社会部門 准教授）
- ・中島 淳 （福岡県 保健環境研究所 研究員）
- ・内田 泰三 （九州産業大学 建築都市工学部 教授）

[事務局] 7名

- ・福岡市 港湾空港局 アイランドシティ事業部
白土 計画調整課長， 小山 基盤第2係長， 清水， 森
- ・一般財団法人九州環境管理協会
宇野， 藤井， 宇佐美

議事次第

- (1) 令和元年度の活動報告、(2) 順応的管理計画、(3) 湿地の現状、
- (4) 今後について

主な意見

(1) 令和元年度の活動報告

- ・令和元年度のワークショップは、当初想定していたよりも順調に進んでいる印象がある。

(2) 順応的管理計画

- ・順応的管理計画の策定後も市民意見を反映しながら最適な方法となるように、計画の「具体的な行動計画・事業実施方針（レベル2）」や「目標達成基準による管理（レベル3）」の内容を随時見直していくことが重要である。
- ・はばたき公園の湿地においては、外来種を含む生物については、「外部から移入は基本的にしない・させないこと」を基本方針とするものの、希少種の保全の観点を考慮すると「希少な生物の系統保存の場」としての可能性が残るような考え方も示す必要がある。
- ・はばたき公園の湿地では、植物を含め、他の動物についても外来種対策を行うことが生物多様性の観点では重要である。このため、順応的管理計画の「目標達成基準による管理（レベル3）」の指標項目には、侵略的外来種に関する指標項目を設定し、対策を講じていくことが必要である。
- ・はばたき公園の湿地については、水域からの匂いの発生という課題も生じているので、目標達成基準による管理（レベル3）の指標項目には水質だけでなく底質も加える検討を行う必要がある。